

(確認様式1)

交付限度額算定表

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	670.5	百万円	規則第17条第1項に基づく交付限度額(Y)	251,106.6	百万円	$X \leq Y$ ゆえ、	本計画における交付限度額	670.5	百万円
							交付率	45.0	%
							提案事業比率	0.0	%

規則第17条第1項に基づく限度額算定

S	8,622	km ²	T	5	年
拠点施設を中心とする半径Rの円の面積(πR^2)			当該広域的地域活性化基盤整備計画の計画期間		
π :3.14			令和7年度 ~ 令和11年度		
r:最短距離	52.4				
拠点施設から都道府県の境界までの距離	52.4	km			
拠点施設から海岸線までの距離	67.1	km			
関ヶ原古戦場周辺エリア					
r ₀ :	10	km			
R:	$r \geq r_0$ ゆえ、	52.4 km			

C	1,165	万円/km ² ・年度
単位面積あたり及び単年度あたりの標準的な投資額		
行政投資全国実績のうち、都道府県が主体となる交付対象事業に係るものを全国平均で除したもの(最新5箇年の平均)		

S×C×T×0.5＝	251,107	百万円
------------	---------	-----

要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費	拠点施設関連基盤 施設整備事業(A)	1,490	百万円	$\alpha 1 = 9(A+B) / 10 =$	1,341.0	
	提案事業(B)	0	百万円	$\alpha 2 = 12A / 11 =$	1,625.5	
	合計	1,490	百万円	$\alpha 1 < \alpha 2$ ゆえ、交付限度額(X): $\alpha / 2 =$	670.5	百万円

(確認様式1-1)

rの選定根拠(複数の拠点施設が記載されている場合)

※ 計画に記載された拠点施設から都道府県の境界若しくは海岸線までの最短距離
(複数の拠点施設が記載されている場合は、そのうち最も大きい値)

<選定方法>

- ① 各拠点施設から都道府県の境界までの距離:r1、海岸線までの距離:r2を記入
(〇〇群とした場合は群の中心付近からの距離とする)
- ② 最短距離欄に、r1、r2のうち短い距離を記入
- ③ 最短距離のうち、最も大きい値となる拠点施設からのr1、r2を交付限度額算定表に記載する値として選定

(単位: km)

拠点施設名	①		②
	拠点施設から 都道府県の境界 までの距離:r1	拠点施設から 海岸線までの 距離:r2	最短距離 (r1、r2のうち 短い距離)
谷汲山華嚴寺	18.9	62.0	18.9
関ヶ原古戦場周辺エリア	3.5	55.6	3.5
伊自良湖エリア	52.4	67.1	52.4
岐阜城	10.1	55.1	10.1
墨俣一夜城	8.5	42.1	8.5

※ 選定結果(交付限度額算定表に記載する値) (単位: km)

拠点施設名	③	
	拠点施設から 都道府県の境界 までの距離:r1	拠点施設から 海岸線までの 距離:r2
伊自良湖エリア	52.4	67.1

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	谷汲山華厳寺	所在地	揖斐郡揖斐川町
設置主体	揖斐郡揖斐川町	管理・運営主体	揖斐郡揖斐川町
拠点施設の区分	法第2条第2項第3号	広域的特定活動の区分	法第2条第1項第1号口(2)
拠点施設データ	観光客数(R4): 43.7千人 (内県内: 14.7千人 県外: 29千人)		
拠点施設の整備の有無	有・ 無	整備期間	-
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<概要及び整備計画> 『たにぐみさん』の愛称で親しまれている谷汲山華厳寺は、平安時代初期、798年に創建され、日本で最古の巡礼行であり、2019年5月に文化庁により日本遺産に認定された『西国三十三所観音巡礼』の33番札所(最終霊場)で結願・満願の古刹として知られ、春には桜、秋には紅葉の名所として賑わいをみせている。谷汲山華厳寺は、山号と寺号は醍醐天皇より賜り、その後は朱雀天皇より鎮護国家の道場として勅願寺に定められ、花山法皇、後白河法皇を始めとする歴代の皇室、朝廷からも帰依厚く、いにしえより観音信仰の霊験あらたかな名刹寺院として1200年余の歴史を有する「教養文化施設」である。 <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 当該施設への交通手段としては、マイカー(レンタカー)もしくはバス利用が一般的であり、全国各地からの観光客が期待できる。A11-001(主)岐阜関ヶ原線 府中・伊吹工区は、当該拠点施設と関ヶ原古戦場観光施設群を結ぶ最短経路上にあり、車線数を4車線にすることにより、拠点施設へのアクセス性を向上させることで観光客増加を見込む。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
谷汲山華厳寺が位置している揖斐川町では、歴史・文化資産、自然の保全と活用により、面としての地域づくりを進め町の魅力を発信している。また、観光協会によって歴史や地域の見どころを伝えるため、近年では希望者に説明付きのガイドがついて歴史的文化をより深く知ることができる取り組みを行っている。通年では、春には谷汲さくらまつり、秋には谷汲もみじまつりを開催するなど年間を通じて多くの観光客の誘致に取り組んでいる。また、令和6年7月から令和8年3月までの期間で西国三十三所を巡るデジタルスタンプラリーを開催するなど「文化的資産の展示」に関する情報発信を行うことで、さらなる観光客増加を図っている。			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	関ヶ原古戦場周辺エリア	所在地	不破郡関ヶ原町
設置主体	関ヶ原町 他	管理・運営主体	関ヶ原町 他
拠点施設の区分	法第2条第2項第3号	広域的特定活動の区分	法第2条第1項第1号口(2)
拠点施設データ	観光客数(R4)：144千人(内県内：49千人 県外：95千人)		
拠点施設の整備の有無	有・ 無	整備期間	-
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
<概要及び整備計画> 関ヶ原古戦場は慶長5年(1600年)9月15日に、天下分け目の合戦として知られている『関ヶ原の戦い』が行われた舞台であり、現存している史跡等は国指定史跡に位置づけられている「教養文化施設」である。また、関ヶ原古戦場の周辺では、史跡の保存、整備や魅力の発信を行っている多くの施設が観光客誘致に取り組んでいる。その中でも、関ヶ原歴史民俗学習館及び関ヶ原駅前観光交流館(愛称:いざ!関ヶ原)は、関ヶ原古戦場史跡の魅力を国内外に発信している観光施設である。 <拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性> 当該施設への交通手段としては、マイカー(レンタカー)もしくはバス利用が一般的であり、全国各地からの観光客が期待できる。A11-001(主)岐阜関ヶ原線 府中・伊吹工区は、当該拠点施設と谷汲山華厳寺を結ぶ最短経路上にあり、車線数を4車線することにより、拠点施設へのアクセス性を向上させることで観光客増加を見込む。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
関ヶ原古戦場では、合戦を再現する『関ヶ原合戦絵巻』や『東西人間将棋』、『東西グルメ対決』、夜の古戦場を楽しむナイトイベントなど、関ヶ原古戦場史跡を活用したイベントを開催するなど「文化的資産の展示」に関する情報発信を行うことで、年間を通じて地域全体で観光客の誘致に取り組んでいる。 関ヶ原町歴史民俗学習館では、所蔵品を展示するのみならず、最近では歴史的視点・体験的要素を重視した取り組みを数多く行っており、現地を巡りながら、戦国時代について学ぶことができる「体験学習施設」としても活動を行っている。また、関ヶ原駅前観光交流館(愛称:いざ!関ヶ原)は、観光案内のほか、観光パンフレットの配架や関ヶ原限定のおみやげの販売もあり、古戦場巡りの拠点として活用がされている施設である。このようにして、関ヶ原古戦場周辺の観光施設が一体となり、関ヶ原古戦場への観光客の誘客に取り組んでいる。 岐阜県と関ヶ原町では、関ヶ原古戦場の整備と活動の指針となる『関ヶ原古戦場グランドデザイン』を策定し、令和8年度の東海環状自動車道全線開通を見据えて、関ヶ原のブランド力をいかした地域活性化と歴史資産の継承に向け、総合案内所、ビジターセンター、案内誘導設備、史跡や古戦場の景観づくりなどの環境整備を推進している。また、町内各所への旗印設置や合戦を想起させるナンバープレートデザインの導入など地域の総合的な戦国時代演出にも取り組んでいる。			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	伊自良湖エリア	所在地	山口市
設置主体	山口市	管理・運営主体	山口市
拠点施設の区分	省令第3条第2号	広域的特定活動の区分	省令第1条第2号
拠点施設データ	観光客数(R4):12千人 (内県内: 5. 4千人 県外:6. 6千人)		
拠点施設の整備の有無	有・ 無	整備期間	—
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
伊自良湖は、周囲約2. 4キロメートルに54万トンの水量を蓄えた人口湖である。春は桜、夏は深緑にキャンプ、秋冬には紅葉とワカサギ釣り、と一年中観光客に親しまれている。また、併設されている伊自良湖FISHING & ADVENTUREPARKでは、鮎の釣り体験をすることができる。岐阜県において鮎は、地域の経済や歴史、食・文化と深く結びついていたり、平成27年には『清流長良川の鮎』が世界農業遺産に認定されていたりなど、「地域の固有の自然、文化等に関する体験」ができる観光地であるといえる。 < 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性 > 当該施設への交通手段としては、マイカー(レンタカー)もしくはバス利用が一般的であり、全国各地からの観光客が期待できる。A11-002(主)岐阜美山線 梅原工区、A11-003(主)岐阜美山線 安食・岩利工区は、当該拠点施設と岐阜城を結ぶ最短経路上にあり、バイパス整備、道路拡幅により狭隘部、線形不良等の解消をすることにより、当該拠点施設へのアクセス性を向上させることで観光客増加を見込む。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
令和6年4月には、伊自良湖に隣接した伊自良湖FISHING & ADVENTUREPARKが新設され、当施設は、カフェ・BBQ・キャンプ・釣りなどの体験を気軽にすることができる施設である。岐阜県の経済や歴史、食・文化と深く結びついた鮎の釣り体験ができるなど、当施設は「地域の固有の自然、文化等に関する体験の機会を提供」する活動を行っている。また、伊自良湖周辺で令和6年11月には自転車とキャンプをテーマにした旅イベントを開催するなど、直近では自然をテーマにした様々なイベントが開催されている。伊自良湖周辺の施設が一体となり、観光客に地域固有の自然に触れる機会を提供することで、山口市の魅力を発信している。今後も多くの野外イベントにより、県外からさらなる観光客の誘致が期待される。			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	岐阜城	所在地	岐阜市金華山天守閣18
設置主体	岐阜市	管理・運営主体	岐阜市
拠点施設の区分	法第2条第2項第3号	広域的特定活動の区分	法第2条第1項第1号口(2)
拠点施設データ	観光客数(R4): 225千人 (内県内: 99.7千人 県外: 125.3千人)		
拠点施設の整備の有無	有・ <u>無</u>	整備期間	—
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 岐阜城は、昭和31年7月、岐阜城再建期成同盟によって復興されたものであり、現在築城されている城郭のうちでは、有数の高さ(約329m(国土地理院の三角点の標高))にあり、最上階からの眺めは、鶯飼で有名な清流長良川が市内を貫流し、濃尾の大平野が豊かに開け、周りに山系が連なっているさまを一望におさめることができる観光拠点となっている。 平成23年に岐阜城を含む金華山一帯を『岐阜城跡』として、国の史跡に指定されており、また、平成27年には『信長公のおもてなし』が息づく戦国城下町・岐阜として日本遺産にも認定されている「教養文化施設」であり、織田信長ゆかりの地及び、岐阜城天守閣からの眺めは絶景スポットとして大変人気があり、県内外を問わず、海外からの観光客も多く訪れている。 ＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 当該施設への交通手段としては、マイカー(レンタカー)もしくはバス利用が一般的であり、全国各地からの観光客が期待できる。A11-004(一)墨俣合渡岐阜線 穂積工区は、当該拠点施設と墨俣一夜城を結ぶ最短経路上にあり、狭隘部・線形不良等の解消により、当該拠点施設へのアクセス性を向上させることで観光客増加を見込む。			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
近年では、期間限定で岐阜城の開館時間を夜間まで延長し、金華山ロープウェイで山頂の岐阜城に訪れ、天守閣から360度の景色を見渡すことができる『岐阜城パノラマ夜景』を開催している。 また、令和6年には、最新技術と調査成果に基づき、信長公が築いた昔の岐阜城を仮想空間(メタバース)上に再現をし、メタバース岐阜城と現在の360度パノラマ現地写真と切り替えながら、過去と今の岐阜城周辺を探索することができる新しいコンテンツで情報を発信しており、令和7年度以降にはさらなる改良を予定しているなど、「文化的資産の展示」に関する情報発信を行うことで、さらなる観光客増加を図っている。また、令和2年に放映された大河ドラマ『麒麟がくる』で使用された衣装や甲冑、パネルなどを展示をしているなど、展示品の更新を行うことで、観光誘客の促進を図っている。今後も、歴史に興味を持った多くの観光客を呼び込む取り組みにより、観光客増加が見込まれる。			

(確認様式2)

拠点施設に関する事項

施設名	墨俣一夜城	所在地	大垣市墨俣町
設置主体	大垣市	管理・運営主体	大垣市
拠点施設の区分	法第2条第2項第3号	広域的特定活動の区分	法第2条第1項第1号口(2)
拠点施設データ	観光客数(R4)： 27千人 (内県内： 9.1千人 県外： 17.9千人)		
拠点施設の整備の有無	有 ・ <u>無</u>	整備期間	—
拠点施設の現況及び計画期間内の整備計画等			
＜概要及び整備計画＞ 墨俣一夜城は、永禄9年(1566年)、木下藤吉郎(のちの豊臣秀吉)が一夜にして築いたと伝えられる墨俣一夜城の城跡に、城郭天守の体裁を整え、平成3年4月に墨俣一夜城(歴史資料館)とした「教養文化施設」である。墨俣一夜城では、古文書などの資料に基づいて墨俣築城と秀吉の歩んだ道を中心とした展示や太閤・秀吉についての学習の場として広く活用され、多くの観光客が訪れている。また、墨俣一夜城址公園周辺の犀川堤の工事が令和2年度に終了し、さい川さくら公園と出世橋南詰の間を、新犀川橋下の河川遊歩道で通行できるようになったことにより、桜の季節は多くの観光客が訪れている。 ＜拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業との一体性＞ 当該施設への交通手段としては、マイカー(レンタカー)もしくはバス利用が一般的であり、全国各地からの観光客が期待できる。A11-004(一)墨俣合渡岐阜線 穂積工区は、当該拠点施設と岐阜城を結ぶ最短経路上にあり、狹隘部・線形不良等の解消により、当該拠点施設へのアクセス性を向上させることで観光客			
拠点施設で行われる広域的特定活動の内容			
墨俣一夜城では、日本三大英傑である豊臣秀吉のゆかりの地として、関ヶ原関連イベントを開催して展示物の更新やVR映像による情報発信をすることで誘客を図っている。 令和3年度は、墨俣一夜城築城455年・墨俣一夜城(墨俣歴史資料館)開館30周年にあたり、記念事業の一つとして、令和4年に京都市から借用した『黄金の茶室』を展示しており、観光客誘致を図る活動を行っている。また、ウェブサイト上でスマートフォンなどで墨俣一夜城(歴史資料館)や展示されていた『黄金の茶室』を体験できるVR映像を公開しており、観光客の誘致を目的に、PRを行っている。 令和8年には大河ドラマ『豊臣兄弟!』が放映予定であり、豊臣秀吉と墨俣一夜城の関係が深いことから、多くの観光客を呼び込む契機とし、「文化的資産の展示」を利用したイベントが予定されており、観光客の増加が見込まれる。			

(確認様式3)

道路

都市計画道路名又はその他道路名 注1)	番号	区間	道路区分 注2)	事業主体	事業手法 注3)	工種	延長 m	車道幅員		車線数		歩道幅員		交付事業費 百万円	交付事業における事業期間 (年度)	事業内容 注4)	都市計画決定 年月	広域的特定活動に伴う人流・物流との関係性		整備効果等 注6)	供用等 注7)	備 考 注8)
								整備前 m	整備後 m	整備前 車線	整備後 車線	整備前 m	整備後 m					自 (拠点施設)	至 注5)			
<道路>																						
主要地方道 岐阜関ヶ原線	A11-001	府中・伊吹	地	岐阜県	－	改築	1,120	7.5	12.0	2	4	－	5.5	300	R8～R11	車道拡幅 (2車線→4車線)	－	谷汲山華嚴寺 関ヶ原古戦場 周辺エリア	時間短縮 (30分→25分)	完成供用L=1.12km (R12.3月予定)	T15=9,093台／日 K=1.28	
主要地方道 岐阜美山線	A11-002	梅原	地	岐阜県	－	改築	800	4.5	6.0	1	2	－	2.5	450	R7～R11	車道拡幅 (1車線→2車線)	－	伊自良湖エリア	岐阜城	未改良区間 (L=0.80km)の解消	完成供用L=0.8km (R12.3月予定)	T15=3,350台／日 K=1.25
主要地方道 岐阜美山線	A11-003	安食・岩利	地	岐阜県	－	改築	820	3.0	6.0	1	2	－	2.5	580	R7～R11	バイパス整備	－	伊自良湖エリア	岐阜城	未改良区間 (L=0.82km)の解消	完成供用L=0.82km (R12.3月予定)	T15=3,727台／日 K=1.26
一般県道 墨俣合渡岐阜線	A11-004	穂積	地	岐阜県	－	改築	440	5.5	7.0	1	2	－	1.0	160	R7～R11	車道拡幅 (1車線→2車線)	－	岐阜城	墨俣一夜城	未改良区間 (L=0.44km)の解消	完成供用L=0.44km (R12.3月予定)	T15=10,750台／日 K=1.20

(参考)

<関連事業>																						

※本調査にはア)交付対象事業「道路」(補助国道、地方道、街路)、イ)関連事業の道路のすべてを記載すること。

注1)道路名は、国道、主要地方道、一般都道府県道、市町村道の別が分かるように記載すること。

注2)国、地、街、他の別を記載。ただし、国:国道、地:地方道、街:街路、他:いずれにも該当しないもの。

注3)<関連事業>については、通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注4)施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注5)要素事業毎に、どの拠点施設を経る人流・物流の経路(他の拠点施設、I.C等)途上の事業なのかを明確にすること。

また、別添「確認様式4 道路概要図」に要素事業及び拠点施設の位置関係が分かるように図示すること。

要素事業にはそれぞれ上表の番号(整備計画の番号)を付すこと。また、拠点施設については、それぞれ施設名、所在地、施設数、入込客数などの概要を記載すること。

注6)5で記載した拠点施設間で行われる当該要素事業による整備効果を簡潔に記載すること。記載にあたっては、「所要時間が○分→○分に約○分短縮」、「拠点施設間唯一の線形不良(R<○)の解消」など具体的に記載すること。

注7)当該要素事業の供用等(部分供用含む)を記載すること。記載にあたっては、「全線完成供用L=○m(R○. ○予定)」、「部分供用L=○m(R○. ○目途)」など、供用形態、区間延長、供用時期を記載すること。

注8)備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(台／日)、混雑度等を記載。また、別添「確認様式4 道路概要図」にも主要ポイントの交通量を記載すること(要素事業箇所直近は必須)。

(例)・道路改築:交通量(台／日)、混雑度等 ※交通量は最新のセンサスデータを用いて記載すること。

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

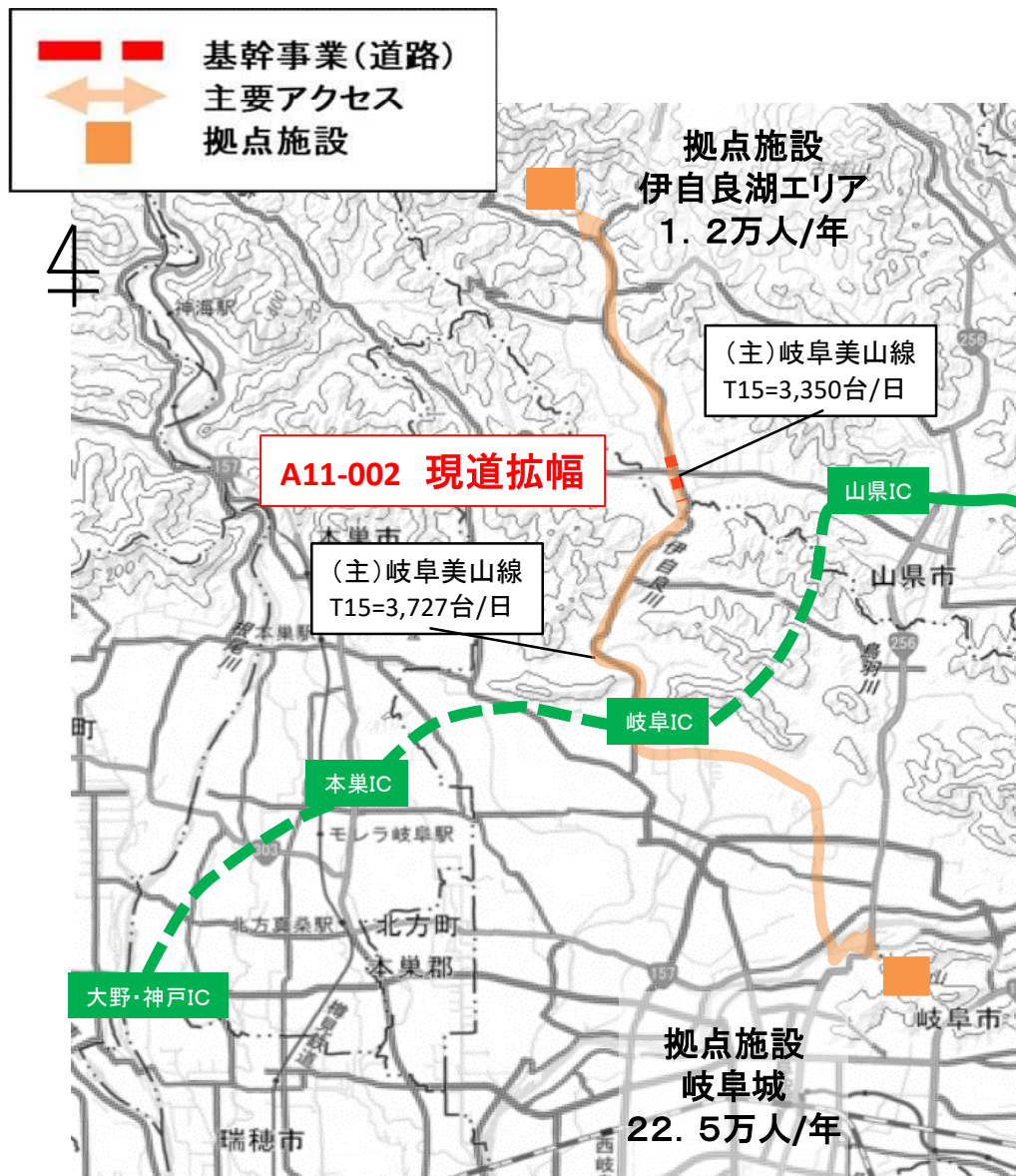
<関連事業>の備考には、当該関連事業と組み合わせて効率的・効果的に実施する交付金事業の道路名・区間についても記載。

※不足する場合は適宜行を追加すること。

※地域高規格道路、連続立体交差事業等の交付期間(3～5年)内に一定の成果をあげることでない大規模な事業は、交付対象外。



(主)岐阜美山線 梅原工区 事業実施箇所図



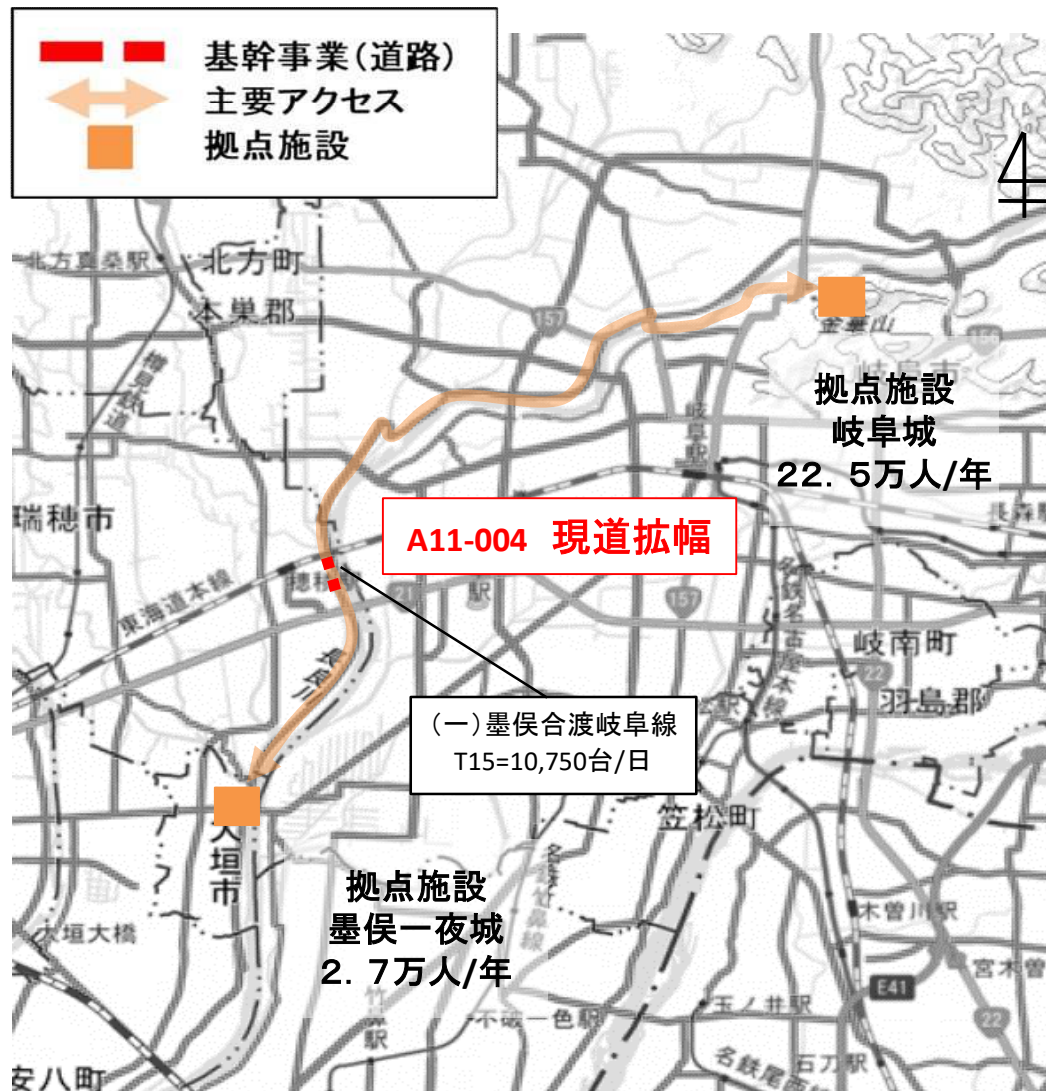
2車線道路としての幅員不足



(主)岐阜美山線 安食・岩利工区 事業実施箇所図



(一)墨俣合渡岐阜線 穂積工区 事業実施箇所図



(一)墨俣合渡岐阜線
穂積工区



2車線道路としての幅員不足、線形不良が課題

